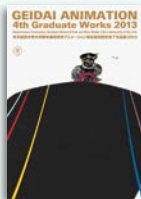


## 出版会活動

◆DVD「アニメーション専攻 第四期生修了作品集2013」を三月八日より発売  
横浜に拠点を置く大学院映像研究科アニメーション専攻。第四期生修了制作十五作品と、一年次制作十三作品を収録したDVDを販売。独創性に富んだ十五の視点から、学生たちが二年間を費やして探究した「アニメーション表現との対話」。その成果物として生まれた作品群からは、アニメーション芸術の次のステージを予感させる。



◆DVD「映画専攻 第六期生修了作品集2012」を七月一日より発売  
大学院映像研究科映画専攻の第六期生修了制作作品集。当DVD収録の『虚しいだけ』は、第六回田辺弁慶映画祭にてグランプリを獲得し、テアトル新宿にて劇場公開された。また他の三作品も国内外の映画祭や劇場にて上映され、現在も大きな注目を集めている。監督・製作・脚本・撮影照明・美術・サウンドデザイン、編集、それぞれの領域の学生が、集大成として取り組んだ修了制作作品集となっている。

◆DVD「映画専攻 第六期生修了作品集2012」を七月一日より発売  
大学院映像研究科映画専攻の第六期生修了制作作品集。当DVD収録の『虚しいだけ』は、第六回田辺弁慶映画祭にてグランプリを獲得し、テアトル新宿にて劇場公開された。また他の三作品も国内外の映画祭や劇場にて上映され、現在も大きな注目を集めている。監督・製作・脚本・撮影照明・美術・サウンドデザイン、編集、それぞれの領域の学生が、集大成として取り組んだ修了制作作品集となっている。



◆野平一郎教授が「第六十一回尾高賞」を受賞  
音楽学部作曲科の野平一郎教授が、第六十一回尾高賞を受賞した。受賞作品は彼方、そして傍らに「ハーブと室内オーケストラのための」

◆三田村有純教授が「第五十二回日本現代工芸美術展 内閣総理大臣賞」を受賞  
美術学部工芸科(漆芸)の三田村有純教授が、第五十二回日本現代工芸美術展において、内閣総理大臣賞を受賞した。

◆深井隆教授が「紫綬褒章」を受章  
美術学部彫刻科の深井隆教授が、平成二十五年春の褒章において、紫綬褒章を受章した。

## 受章・受賞

## 運営

◆平成二十四年度卒業式  
三月二十五日  
(月)、奏楽堂にて平成二十四年度卒業式が実施された。

学長式辞では、「火(ひ)」と「軍(ぐん)」とが重なった「輝(かがやく)」という文字を、「きらめきを心の中に持ち志を同じくする仲間と一緒に前進すること、素晴らしい『かがやく』を得るに至った今日のあなたたちを表した文字」と説明し、「藝大で培ったその輝く力で、大いに世の中に影響を与えていてもらいたい。また『かがやく』を失いかけている人がいたら、自らの『かがやく』で優しく包んでそれを甦らせ、共に素晴らしい世界を作っていくことも、あなたたちの使命だと広い世界へと立立つ若者たちを激励した。



◆平成二十五年度入学式  
四月五日(金)、奏楽堂にて平成二十五年度入学式が挙行された。

学長式辞では、宮田学長が式辞の最中に壇上で「作」という文字を揮毫し、「小枝を束ねて垣根を作る様子を表すこの字は、一人一人が団結して物事に取り組み、掲げる理念を形にすることも通じている。これからの学生生活はあつとつ間に過ぎるのだから、明日と言わず、この文字が



示すような心をもって、今からすぐに前進を始めたい」と述べ、大学生活のスタートを切る学生たちにエールを送った。

◆「学長と語ろう こんさーと」  
ゲストに元横綱・北勝海の八角信芳氏を招き、六月二十一日(土)、第十三回「学長と語ろう 奏楽堂トーク&コンサート」が開催された。会場の 本学奏楽堂では、九百名を超えるお客様が約二時間にわたり対談と演奏会を楽しんだ。

「伝統をまもる！」をテーマにした第一部のトークでは、八角親方の現役時代、休場した際のリハビリの苦労などが語られた。また、スクリーンに優勝決定の取り組みなどが流されると、客席からは拍手が沸き起こっていた。第二部のコンサートでは、藝大シンフォニーオーケストラによるベートーヴェン《交響曲第五番》「運命」指揮・澤和樹教授、松下功 交響詩《相撲甚句》指揮・松下功教授が演奏された。交響詩《相撲甚句》では、勢閑、鶴乃湖、安芸乃川の三力士が登場し、見事な美声を披露した。



◆下村文部科学大臣が本学を視察  
下村文部科学大臣が四月十九日(金)、本学を訪問し、宮田学長等との懇談及び学内施設の視察を行った。学長室での懇談では、宮田学長、渡邊理事、北郷理事、畑中理事、越川副学長、澤副学長から藝大の活動や



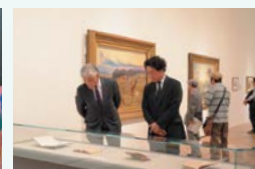
今後の展望について話をするともに、文化芸術の振興について意見交換を行った。学内視察では、奏楽堂、文化財保存学日本画研究室、彫刻科、工芸科鍛金研究室、陳列館を視察し、最後に藝大アートプラザを訪問し、教員等の作品を鑑賞した。



◆文化庁長官が「夏目漱石の美術世界展」を鑑賞  
近藤文化庁長官(当時)が五月十六日(木)、本学を訪問し、大学美術館の展覧会「夏目漱石の美術世界展」を宮田学長、古田大学美術館准教授の案内によって鑑賞した。

展覧会は開幕3日目で、午前中にも関わらず多くのお客様がご入場されているなか、近藤長官は古田准教授の説明に熱心に聞き入りながら、全展示室を鑑賞した。当初は展覧会鑑賞後、お帰りになる予定だったが、急遽、美術学部絵画棟で行われていた絵画科油画専攻の講義(国際的に活躍できる芸術家を見据えての実践的な英会話の講義)を保存科美術学部長、絵画科坂口教授の案内で視察した。

視察中には講義に飛び入り参加し、学生に対して、外交官時代の経験から、国際社会においては、語学を駆使して自分をアピールできることがとても重要なので、ぜひ頑張ってくださいとメッセージを送っていた。



第27号刊行にあたって

決められた方向性の中でどなたに話しをうかがえばよろしいか、様々な角度から検討され会議の中で肅々と決められてゆく。

今号も実に振り幅の大きい豊かな人選となり、読み応えがある。ただ私たちはこの貴重な資源を誰に向かって発信しているのか、私たちが持つべき情報発信力の中でこの雑誌の位置と効果とはどのようなものなのだろうか、この辺で今一度考えてみる必要があるだろう。

藝大通信編集長  
松下 計

展覧会・演奏会の最新情報は、東京藝術大学公式 Web サイト (<http://www.geidai.ac.jp/>) をご覧ください。

● 展覧会についてのお問い合わせ先

東京藝術大学大学美術館  
Tel. 050-5525-2200  
NTT ハローダイヤル  
Tel. 03-5777-8600

● 演奏会についてのお問い合わせ先

東京藝術大学演奏芸術センター  
Tel. 050-5525-2300

● 演奏会チケットの取り扱い

藝大アートプラザ  
Tel. 050-5525-2102  
ヴォートル・チケットセンター  
Tel. 03-5355-1280  
チケットびあ  
Tel. 0570-02-9999  
(一部携帯電話・PHS・IP 電話はご利用いただくことができません。)  
東京文化会館チケットサービス  
Tel. 03-5685-0650  
イープラス (e+)  
<http://eplus.jp/>

● 藝大アートプラザのご案内

Tel. 050-5525-2102

◆ 第五十九回五芸術大学体育・文化交歓会(東京大会)を本学で開催

五月二十三日(木)から二十六日(日)までの四日間、本学にて第五十九回五芸術大学体育・文化交歓会(通称：五芸交歓)が開催された。

今年のテーマは「dePARTure」。ARTを内包したこのテーマ「dePARTure」には、芸術というアプローチから新たな社会の変革の先陣を切って行きたいという意味が込められている。二〇〇九年の前回東京大会が新型インフルエンザの影響で開催中止となったため、八年ぶりとなった東京大会は、総合工房棟ウッドデッキで行われた開会式で華やかに開幕し、学生による作品展、アートマーケット、講演会、五校企画イベント、四校合同演奏会やスポーツ競技で四日間大いに盛り上がり閉会した。



◆ 今年度上半期に開催された主な展覧会、演奏会記録

《大学美術館》

FENDI・UN ART AUTRE  
Another Kind of Art,  
Creation and Innovation in  
Craftsmanship  
フジフイ、もうひとつのアート、クリ  
エイションとイノベーションの軌跡、  
会期 四月三日〜四月二十九日  
入場者数 一万五三二五名  
藝大コレクション展 春の名品選  
会期 四月五日〜五月六日  
入場者数 二万六百七名  
夏目漱石の美術世界展  
会期 五月十四日〜七月七日  
入場者数 七万四五一八名

《音楽堂》

藝大フィルハーモニア定期  
新卒業生紹介演奏会  
開催日 四月十九日  
入場者数 七九七名  
「消える昭和とその時、世界は？」第1回  
戦争の世紀①〜二つの戦争のはざま  
開催日 五月十八日  
入場者数 二二二一名

第四十八回藝大大学生オーケストラ

(藝大定期第三五七回)

開催日 五月十三日  
入場者数 七〇二名  
藝大21 創造の杜2013  
藝大現代音楽の夕べ  
開催日 六月七日  
入場者数 四百八名

「消える昭和とその時、世界は？」第2回  
戦争の世紀②〜東西冷戦と音楽

開催日 六月十六日  
入場者数 二九二名  
藝大フィルハーモニア定期  
(藝大定期第三五八回)  
開催日 六月二十一日  
入場者数 六七八名  
東京藝大チエンパーオーケストラ  
第21回定期演奏会  
開催日 六月二十九日  
入場者数 六六一名

◆ 藝大フレンズ加入者状況

加入者数 平成二十五年七月三十一日現在  
賛助フレンズ 個人四二三名  
法人団体四社  
特別賛助フレンズ 個人十三名

藝大基金寄附者(芳名)

東京藝術大学基金(藝大基金)へ温かいご支援を賜りました皆様へ、心より感謝申し上げます。本号では、藝大基金を創設致しました平成二十四年十月四日から平成二十五年七月末日までに寄附申込いただいた皆様を掲載させて頂きます(掲載をご承諾いただけた方のみ)。

東京藝術大学は、皆様からのご支援により支えられています。末永くご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

《個人の皆様》

小瀬村幸子様 一千万円  
(本学元オペラ研究部演奏研究員)  
小栗正男様 百万円  
西川こずえ様 十万円  
森脇慎也様 一万円

《法人の皆様》

FENDI ADEL S.R.L.様 一千三百八万一千六五〇円  
大日本印刷株式会社様 一千万円  
日本国土開発株式会社様 一千万円  
松陰神社様 五十万円  
上野製菓株式会社様 三十万円  
株式会社アサソー・ディ・ケイ様  
第一工業株式会社様

お問い合わせは総務課渉外事業企画室  
050-5525-2025  
藝大基金WEBサイト  
<http://fund.geidai.ac.jp/>

◆「藝大通信」編集部では、皆様からのご意見・ご感想などお待ちしております。今号の内容についてのご感想や、今後のご要望などありましたら、こちらまでお寄せください。

〒二〇一八七一四 東京都台東区上野公園二十一-八  
東京藝術大学総務課内 藝大通信編集部  
ファックス 03-5685-7760 E-mail [toiawase@ml.geidai.ac.jp](mailto:toiawase@ml.geidai.ac.jp)